

Sacred Sites for Tourism Strategy
The Nagasaki Churches and the Commodification of Place

観光戦略としての 宗教

長崎の教会群と場所の商品化

松井 圭介 著
Keisuke MATSUI

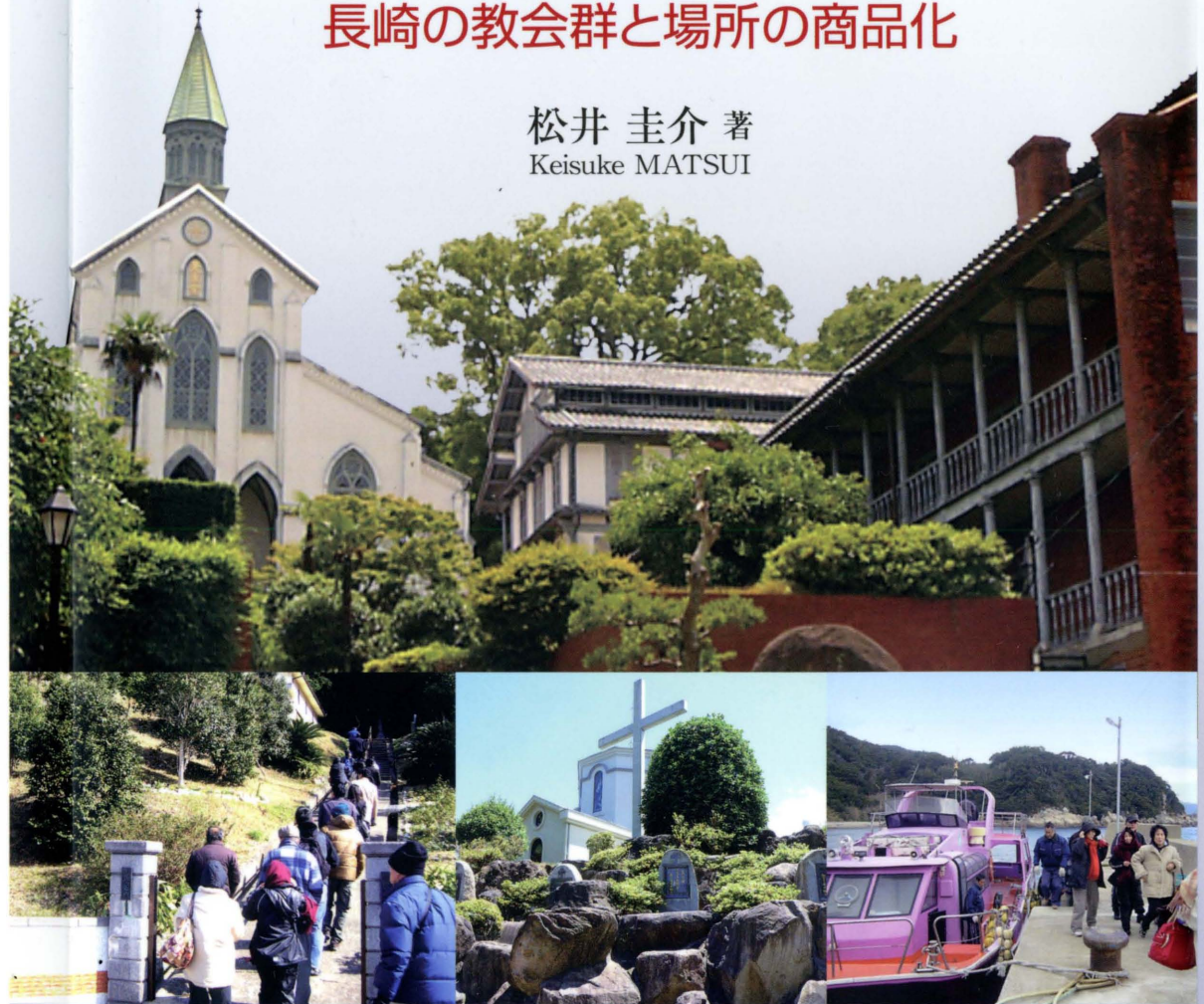
現在、世界は聖地に満ちあふれている。場所の魅力を
発見し聖地を創造するという試みは、全国各地の
自治体における、観光まちづくりや地域振興の実践に
あたる重要な地域課題である。

本書は、聖地創造の仕掛けやホスト側の対応を
通して、宗教空間がいかに観光資源と化されるのか、
さらに場所の商品化の課題は何かについて、長崎県に
おけるキリシタンを事例に考察したものである。

(カバー写真).....

長崎は1550年、聖フランシスコ・ザビエルの平戸来航以来、
日本におけるキリスト教信仰の中心としてキリシタン文化が開
いた。その後の幕府による弾圧、信徒の潜伏、信仰の復活を経
て、キリスト教の信仰は長崎の人々の暮らしに息づいている。今、
こうした信仰の証としての教会や聖地を訪れる人が増えている。

- 上 段：国宝・大浦天主堂と旧羅典神学校および旧大司教館
- 下段右：五島列島久賀島に上陸するキリシタンツアーの人々
- 下段中：平戸島にある紐差教会内の十字架の道行き
- 下段左：久賀島にある殉教の聖地(牢屋の窄殉教記念教会)



筑波大学出版会

観光戦略としての宗教

長崎の教会群と場所の商品化

松井 圭介 著

筑波大学
出版会



9784904074268

ISBN978-4-904074-26-8

C1026 ¥2800E

定価（本体2,800円＋税）



1921026028009

発売所 **丸善出版**



筑波大学
出版会

装釘：クリエイティブ・ピーダッシュ

Sacred Sites for Tourism Strategy
The Nagasaki Churches and the Commodification of Place

観光戦略としての 宗教

長崎の教会群と場所の商品化

松井圭介 著
Keisuke MATSUI



筑波大学出版会